

愛産研 ニュース

愛産研ニュース

平成20年9月5日発行

No.78

編集・発行

愛知県産業技術研究所 管理部

〒448-0013

愛知県刈谷市恩田町一丁目 157 番地 1

TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033

URL <http://www.aichi-inst.jp/>

E-mail info@aichi-inst.jp

9 月号

2008

今月の内容

トピックス 技術紹介

- ・穿孔加工した木材の乾燥・圧密同時処理について
 - ・シリアル・イーサネット変換器を利用したリモート制御について
 - ・揮発性有機化合物（VOC）の測定技術について
 - ・ラビッド・ビスコ・アナライザーの豆腐製造への利用について
- お知らせ

〈トピックス〉

● 当研究所の技術センター4所で、体験教室を開催しました

当研究所の技術センター4所で、8月1日の「愛知の発明の日」にちなんで、地域の皆様に愛知県産業技術研究所等の仕事を紹介するとともに、皆様の科学への関心を高めるために、施設を開放して、体験教室を開催しました。詳細は、一覧表のとおりです。

行事名	科学教室	おやこ体験教室	おやこ科学教室	染め織り体験教室
	光るセラミックスでアクセサリー小物を作る	A コース:布で野菜や果物を作る B コース:ミガガを織る	招き猫絵付けとガラス彫刻への挑戦	1 オリジナルなミガガ作成 2 オリジナルなハンガ作成
開催日	7月22日(火) 10時から12時まで	8月1日(金) 9時30分から16時まで	8月1日(金) 14時から16時30分まで	8月2日(土) 10時から12時まで
会場	瀬戸窯業技術センター	尾張繊維技術センター 財団法人一宮地場産業 ファッションデザインセンター(共催)	常滑窯業技術センター	三河繊維技術センター
参加者	地元の中学校の科学クラブ、美術クラブ生徒 44名	小学校3～6年生と保護者 A コース 12組 27名 B コース 18組 42名	常滑地区の小学校5年生と親 13組 35名	小学生以上(原則親子で) ミガガコース 7組 18名 ハンガコース 10組 22名



瀬戸窯業技術センター 教室風景



尾張繊維技術センター 教室風景



常滑窯業技術センター 教室風景



三河繊維技術センター 教室風景

● 平成20年度第1回炭素繊維応用技術研究会を開催しました

炭素繊維は、金属と比べて「軽くて、強い」特性を持つことから、製品の軽量化ができ、エネルギーの節約につながるため注目を集めています。特に、次期旅客機「ボーイング787」の機体に炭素繊維補強複合材が大量に使用されることが話題になっています。以前からのゴルフクラブ、テニスラケットなどのスポーツ分野に加えて、自動車、産業用ロボットアーム、半導体製造で不可欠な高性能断熱材、土木建築、廃水処理分野等多くの分野で使用されてきており、今後は、限られた「ハイテク素材」から汎用的な「工業材料」として用途拡大が進むものと期待されています。しかし、用途開発に当たっては、繊維加工技術、プラスチックとの複合化技術、成型加工技術、切削技術、接合技術などの幅広い要素技術が必要とされています。

そこで、当研究所は、財団法人科学技術交流財団との共催で、8月5日(火)に愛知県技術開発交流センターで炭素繊維の分野において第一線で活躍される研究者の方々に講師を招き、第1回炭素繊維応用技術研究会を開催しました。この研究会は炭素繊維及びその加工技術に関する諸問題について理解し、それらの応用を進めることを目的としており、当日は、105名の方々が参加されました。第2回研究会は、9月30日(火)に名古屋市内で開催予定です。